

S 1 淀川区のユニークな…

このコーナーでは、淀川区役所の特徴ある取組をご紹介します。

1. 榊区長、スタジアムの中心で LGBT を叫ぶ！

4月12日(土) 淀川区民デーとして、ヤンマースタジアム長居でセレッソ大阪とガンバ大阪の試合が行われました。ヤンマースタジアムのこけら落としとなったこの試合、開始前にスタジアムにお越しの4万人を超えるみなさんへ向け、[榊区長が LGBT について語りました。](#)

[LGBT](#)の課題は、目に見えない問題であるということです。2012年の電通総研の調査によると、LGBTは、人口の5%程度存在するとされています。これは試算ですが、大阪府にLGBTの方は約28万人いるということになります。これは大変大きな数です。これ



だけ多くの当事者がいるはずなのに見えていない、ということに違和感があると思います。見えていない原因のひとつに、カミングアウトしたとしても、何のメリットもない、ということがあります。

同性結婚を認める国は、サッカー先進国ではかなり多く、フランスやスペイン、イギリス、ブラジルも認めている。このように、「同性愛を認める」「LGBTの方々の人権を尊重する」というのが、スタンダードになっています。

今年ワールドカップの年です。先進国のスタンダードと日本のスタンダードが違うということは、非常に大きな問題だと思います。このLGBTの見えない問題を見えるようにすること、これを考えていただきたいと思います。

2. 共済型モデルの訪問型病児保育説明会

4月26日(土)、業務委託先のNPO法人ノーベルの事務所(中央区)で説明会を行いました。

淀川区では、全国の政令指定都市で初めて、[共済型モデルの訪問型病児保育事業](#)を、平成26年4月から実施しています。



説明会では、実際の保育の映像も見ながら、訪問型病児保育について知っていただけます。託児もあり、ちょっとした疑問にも丁寧にお答えします。しかも、淀川区民にとっては、お得感満載！

説明会は随時開催されますので、詳しくは[NPO法人ノーベルさんのホームページ](#)をご覧ください。